……元……吊……百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
集市共上車三千餘輛
機車共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙 一連 一圓
一フールスカップ 仝 四圓
一中判洋紙 仝 二圓
一半紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚綴 十四錢

一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一筆筒 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戶棚 七圓五十錢以上十圓

一絹手布 一枚 四圓以上六圓五十錢
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 一ヶ月以內 銀十五仙乃至十□
一長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

特別廣告

△資本金貳千四百萬圓
△積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
横濱正金銀行牛莊支店
電話 十番 支配人室 百八番 事務室

本月十八日ヨリ中央金庫事務及一般銀行業務取扱申候
明治卅九年六月
横濱正金銀行遼陽出張所
主任 中村得三郎

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
苫島丸 二十日午前 門司四日市行
營口丸 廿一日出帆 大沽、芝罘、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行 (電話二六番)

瀛船出帆廣告
摩耶山丸 二十日門司、神戸、大阪行
第三琴平丸 仝 同
御代丸 仝 門司、横濱行
第二元山丸 仝
萬城源丸 仝
龍口、登州府定期航路
松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話(五二 五七)

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
盛航丸 二十一日大連行
代理店 ブッレユ兄弟商會 東營口公園地横 遠來洋行 (電話二十三番)

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名聲日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推展招徠之計有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至
總司理人 田中賴之助謹白
電話(店一八三番 住所五五番)
開設老爺閣街同盛德院內

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼營有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 業亮卿謹白

東永茂
本號油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祗做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事 潘玉田 副理事 金德魁
設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨縣料棧堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
保險運各幣火輪船生意兼賣各幇洋什貨檀石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各様雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面悶是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃(電話九十五番)
西義順棧內 西櫃(電話九十八番)

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(撒枯拉)百合花牌(利利)均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(臨沽來福)清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

遼河運輸 同濟公司
本號鄉官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運々貨物交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請即本號面議特仰週知
營口南永世街 同濟公司總局
馬蜂溝 同濟公司分局
營守屯 同濟公司分局
通江子 同濟公司分局

S.P.
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣(正日光)皮酒價及各様雜貨尤廉滅特此廣告
營口元神廟街元神廟南邊路西 (電話一百九十二號)
朝日ビール特約大販賣

三井
電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭、糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八号)

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元，分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理明治日本火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹郭漁笙先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦 諸貴商所樂聞乎如蒙 賜顧請逕至大德亨內面議可也

三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已 諸公賜顧請 駕臨大德亨內面議不誤

王鹿芹 郭漁笙 仝啓

洋行
電話 第六十六號 第九十一號

鐵道遼河裕和盛運輸局
(電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口店鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

銃砲火藥軍刀販賣業
本行蒙 官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也
官許商 武田洋行
營口元神廟街第十號

煉瓦及雜貨販賣
營口元神廟街十號
東海洋行
主任 針生安次郎 張貴良

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉
光顧者請至營口永世街
第五號門牌便是

縄叺莚販賣廣告
精々强勉仕候間不拘多少御注文奉願候尚ほ當地にて御入用之御方は南永世街三十七號地岩村眞藏方へ御申越被下度候
大連市西通り二丁目四十三號地
東京 門倉出張所

丸重洋行 貨物運輸
啓者本行前在營口躉賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話 營口八番 牛家屯四拾六番

青堆子 菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各様洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

營口 華盛通轉運行
啓者本行專以代客運送各城貨物格外從廉倘蒙貴商光顧請至本行面議可也各站口皆有分設帳房格外周到不誤主顧現居西水晶宮東頭裕順興內特仰周知
本行總理事人 揚兆豊 敬啓

森醫院
營口永世街
院長醫學得業士 森嬌

齒科部
主任齒科醫士 兒島市郎

啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八號起開辦從事齒患者之治療按齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅繫胃腸之健否缺落一齒則音聲爲之澁濁面貌爲之失形況疾患罹於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒遂使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀轉輾反側至爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奧巧技入神齲齒凹窩則須鑽去疼痛而後塡塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒嵌入齒株無殘根者則以護模製之座床刻植義齒其他或嵌齒頭以金冠或嵌人義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無恙者則因藥液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不憂有齒患矣然中國醫界之風潮尙未甚達治齒之術措而不問殊爲慨事本院主引爲已憂測然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療刻設備已全施治懇到其術極巧其價極廉以期普遍救治並發揮近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

志岐組木料棧
材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨淥兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光顧請到本棧面議

東京電報 (六月十八日發電)

●藤侯戰後經營意見 伊藤侯は政友會幹部を招待せる席上に於いて戰後經營は積極的方針を以て進み擧國一致を以て遂行すへしと說き外債の增額意とするに足らすといへり

●豫算編成方針決定 來年度豫算編成の大方針は既に決定せり

●軍制調査委員任命 陸軍軍制調査委員を設けられ西大將其委員長に仰付けられたり

奉天電報 (十九日午後七時特別通信員發)

●樺山大將一行到着 樺山大將淸浦西兩樞密顧問官の一行唯今到着せり水町理財局長亦來る

●福島少將等着期 福島參謀次長山座政務局長の二氏は安東縣より明日來奉の筈なり

記者曰く昨紙奉天特電により山座局長の去る十六日既に奉天に到着せるを報せり而して今又此電報に接す或は前報の誤電なりしならんか記して後報を俟つ

雜報

●滿鐵と軍事的施設

從來陸軍省の手によりて管理せられたる南滿洲鐵道が其經營を半官半民の株式會社に委することゝなりたるに就ては今後同鐵道に對する軍事上の施設計畫は陸軍省一切之を顧みさるかの如く思惟するものあれとも實際は然らず同鉄道は曩に露國が唯一の軍事上の目的を以て之を經營したるが如く我國も亦軍事上の目的に重を措き之を經營するは勿論の事に屬す而して政府が其經營を今回の如く會社組織となすについても豫め山縣、大山兩元帥及び兒玉參謀總長等より特に軍事上の意見を聞きたる上之を實行したるものにして要するに之が經營の方針は軍事上の利害關係より打算せられたるものなり滿洲に於ける我軍事上の設備如何は今之を明言する能はずと雖も畢竟この鉄道を中心骨子として彼此設備上の關係を保ち完全を期するにある由なれば今後會社の手に於て之が經營を遂行するにも先づ軍事上の方針に準據すべきは勿論なると同時に政府は如何なる命令をも會社に與ふるの權能を有し居る次第なれば同鉄道に對する軍事上の方針は陸軍省が同鐵道を管理すると會社が之を經營するとに於て毫も變ずる所なしと某將軍は語れり

汽車時刻

關內外鐵道

上り
營口發前八、二〇 七、〇〇
溝幇子同九、四五 九、〇〇
錦州同后三、四五 二、〇〇
山海關着六、〇〇 八、一〇

下り
山海關發前七、〇五 四、四五
錦州同后三、三五 二、〇五
溝幇子同二、四五 四、四〇
營口着四、三五 七、五一

山海關發前八、一五 五、〇〇 北京發前八、〇〇

東淸鐵道

新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五七

上り
營口發前六、三〇 后九、三五
大石橋着同七、三〇 一〇、三〇
大石橋發前八、〇五 后一一、〇五

下り
大石橋發前八、二五 后二、一五
營口着同九、一〇 三、一〇
大石橋發前七、三五 后一〇、三五

溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、三五

●長春停車場と露國 昌圖公主嶺間の鉄道引渡に次で長春、公主嶺間の引渡は來八月一日を以て行はるゝ筈なるが長春即ち寬城子停車場は日本に歸すべきか露國に歸すべきか將た日露兩國の共有に歸すべきか地形よりすれば同停車場は長春より三十町南方に位置し當然日本に歸すべきものなれども露國は同地を長吉鉄道の起點となしつゝある關係より同停車場を其勢力範圍に入れんとする摸樣あれば長吉鐵道問題と共に八月一日の引渡には多少の紛議を免れさるへしといふ

●福島少將用向一說 福島參謀次長の用務は嘗て記載する所ありしが一說に據れば遼東租借地の守備幷に東淸鐵道守備の狀況視察に在り殊に東淸鐵道昌圖、公主嶺間は已に我が軍に於て之を守備し公主嶺、長春間も八月一日以降我が軍守備すべければ昌圖、長春間の守備兵のみにても約二箇聯隊を要するを以て參謀本部は其の配置に就き視察を爲すの必要ありしが爲なりと云へり

●學生の滿洲視察 千家東京府知事は夏期休暇を利し中學校以上の生徒をして旅順及び大連等より滿洲各地に旅行せしめ我が軍の奮鬪せし新戰場及び將來我が國の經營すべき箇所等を見學せしめなば大に精神的修養に資する所あるべしとて其の筋に對し御用船の利用其の他便宜を與へられんことを交涉中なりと

●奉天通信 (十七日發)

▲奉天外國租界地域 奉天外國居留地域としては將軍よりの原案として提出したる所によれば城東小西邊門以東停車場附近一帶を抱括して南渾河に至る地域一淸里四方なるやに聞く而して淸國官憲は已に該地居住の淸人に對し其所有地所丈畝及び地價等を稟申すへきを命したりと

▲釋雲照律師の東行 數日前當地に巡錫して忠魂を吊せられたる釋雲照律師一行は本日輕便鐵道にて安東縣方面に向はれたり當地滯在中は老軀を厭はずして親しく各陸軍墓地を參拜供養せられたるのみならず北陵にも參拜せられ又た昨日は城東黃寺に喇嘛法主を訪問して法談を試みられ適々旅宿に歸着せらるゝや邦人の特信者を迎へて諄々として法香を傳へられ又た其懇願によりて揮毫を試みらるる等寸暇なきの有樣なり聞く律師は滿韓各地の忠魂を吊ふて歸東の途次九州一圓を巡錫せらるへしと

▲將軍と地方行政 趙將軍赴任以來地方行政の振肅を勸め近來頗る直隷方面の人士を吸收して地方行政の任に當らしめ又た新縣を設置し若しくは當地の繁昌狀態に應して行政區域を變更する等銳意地方行政の振興を計るは甚た賞すへきも其所謂新人材なるもの多くは直隷一點張りの新人材にして滿洲の地方事情に通ずるもの少く爲めに民情疎通せさるの虞あり且つ將來勤めて人材を吸收するも將軍の神經質は人材を信任せざるの弊ありて地方官の任に臨む多くは署理を以て其任期甚た長からす大約早きは三四個月遲きも半年內外にて轉任若くは休職を命するの狀態なるが故に地方官自ら其任に安して抱負を實行するの意なく爲めに地方行政振興の實は依然として形式以上に何等の進步あるを見ること能はす地方官交迭の頻繁は徒らに送迎に他人民の繁雜と痛苦とを增すのみなりと云ふ

▲警務學堂と警察局 當地警務學堂は昨年開始せられ曾て北京慶親王より本邦へ特派せられたる警務留學生出身の教師ありて教育に任し着々其效を收め學生亦比較的淸國普通の教育あるものを集合し近々校務を擴張して大南關に屋舍を移し學生三百餘名(現在百名內外)を收容する筈なりと云ふ然るに已に現に學堂を卒業して警察の實務に從事するもの其成績從來無教育の巡捕に比して嶄然頭角を顯すも之か優遇の道充分開かれさると假令は兵式体操の如き學堂にて長教習により日本式に教練せられたるもの卒業後警察局に至るや獨逸式教練を改めて教へらるゝなど學堂と警察局との脈絡一貫せるものなく折角學堂にて造り上けられたる學生は警察局に於て叩戾りせしめらるゝ實情あり心ある者は大に之を遺憾とせりといふ

●奉天守備隊の軍旗祭 奉天守備隊步兵第五十四聯隊にては去る十六日午後一時より兵站本部の大廣場に於て軍旗祭を擧行せるが先づ式場の入り口には我大國旗を交叉し綠門には祝軍旗祭の扁額を掲け入りて左手に應急所右手に招待係の控所ありて一々來賓に接し場內は紅白の幔幕を張り赤白黃など種々咲き亂れたる草花の中央より吊したる無數の大小旗は高く微風に飜つて壯觀を極めたり餘興には滑稽紀念博覽會、造り人形、輕口、芝居、角力、擊劍扨ては笑覽會と銘打ちたる偶意的陳列所等枚擧に遑あらず就中角力に至つては奉天、大砲、機關砲など稱ふる一騎當千の力士揃ひとて回向院にも見られぬ好景氣にて殊に中入の甚句に至つては異物も三舍を避ける位の大出來なり午後六時頃一發の爆竹を合圖に宴會に移り安藤聯隊長の挨拶を初めとし藤本旅團長、陶大均氏、趙爾巽氏及び我總領事萩原守一氏等の答辭あり 天皇陛下の萬歲聯隊の萬歲を唱して散會したるは午後八時過きなりき (奉天通信の一節)

●(大官一行)跟隨錄 刀水生

十三日 旅順にて

▲一行は先つ二百三高地に向ひ、夫より二龍、松樹、東鷄冠山の各砲臺に登り視て歸る、或は右に或は左りに縱橫幾線、山又山、山腹を夫から夫れ、壘より壘に傳ふへく作られたる要塞道路は坦々砥の如く。一行の馬車二十餘輛、轣轆相應し車聲轔々風を起し砂を蹴立て上る、其長きこと幾んと五丁程に連續す遠く望めは恰も是れ蜒蜓長蛇の疾走するに似たり、某人因て稱して長蛇行列と爲す

▲一行中一見覇氣滿々未來の好大將として衆目を一身に注ぎ鍾むる者を誰とか爲す、是れ上村中將其人なり、視、聽くこと銳、敏、他の者の見物的なるに反し、儲かに中將は見學的なり、他の見ざるを視、探らさるを能く探らんとして他よりも多くの步を運はせる者も亦中將なり、ペトンの破壞口より腹這ひによつて潛り入りて見え眞つ暗な穹窖內を探る、紀念にせんとて彈片小銃彈等を拾ふ、中將又他よりもよく多く拾ふ、二〇三高地に拾ふたる敵の小銃彈を他に見せびらかして居たり

▲二〇三高地の東道たる將校は實戰に干與せし旅順要塞司令部の服部工兵少佐又二龍、松樹、鷄冠山等の東道を爲したるは之れも亦旅順包圍に終始實戰に參加したる弦木砲兵中佐、其說明を聞漏さじとて樺山、伊東、井上、東鄕の大將連 高崎、淸浦、西等の最高顧問府連中、有馬、上村其他の將軍及ひ高官連中佐を圍繞し質問の矢は各自の口によりて發せらる、人戯れて中佐大官の包圍攻擊に遇ふの圖といふ弦木中佐たる者亦以て榮なりとすへし

▲實戰に干與したる中佐の說明、右顧左眄、攻守の實況を一々指示して悖々說去り說き來りて遺憾なし最後の觀覽砲臺たる東鷄冠山の本砲臺に於て中佐は附言し 此砲壘は敵の自から破壞して退却したるもの我れは直に入りて之を占領したる也 而かも二日の拂曉高地に登りて之れを見れは全山一帶我軍の占領する所となり、旭旗翩々たり、快極まつて言ふ所を知らす、或は夢にあらさるなきを疑ふ云々と語るや拍手の聲は先つ高崎男によりて發せられ一同相和して快哉を呼ひ萬歲を叫ぶ

▲松樹山參觀の砌 高崎男切りに地圖を繙いて令息戰死の場所を他に問ふ男の眼には一滴の淚なしと雖も胸中の暗淚如何はかりぞ、轉た見る者をして却つて竊かに流涕せしむるに至る

▲歲よりせは古稀過ぎたる老人連多し、軍人なれはこそなれ、薩摩隼人なれはこそなれ、或は登り、或は降る 午前八時より午後六時に至る休憩したるは僅に二個所のみ、艸臥れたる貌する者もあらさりき

▲督府の午餐會あり一行之れに列す滿洲農園會よりして盆栽數十鉢を徵發して食卓の粧飾に爲す前代に花始めて開ける百合の一鉢、恰も好し偉軀赫々たる東鄕大將眼前の珍として、大將の觀賞を恣にす其場にありし人名つけて東鄕百合と命名す、耕耘の事に加ふるに植樹を業とする農園會の榮譽は此東鄕百合の名に依つて之れより滋に茂り榮えん哉

▲予れ此日一行に跟隨して塵風に浴し熱沙に曝さるゝこと午前八時より午後六時に至る前後十時間、一体已れは手袋を穿つてと大嫌の男なり、日に灼けて手の先き眞つ黑になれり、人戲れに呼んで東鄕ヤケといふ稍々有難迷惑なり、呵々

●ぼくの漫筆 ぼく

▲南滿洲鐵道株式會社が組織されて日本の滿洲における經營方針が決まると早くも露人は公主陵より哈爾賓に至る間の鐵道運賃を從前よりも約五倍の高運賃に値上げしたと云ふことを耳にする▲かくして北方に輸出さるべき一切の貨物は停車場に停滯して山を爲し恰も戰時糧秣彈藥等の輸送中間廠の如き觀を呈してるとのことだ▲啻だ是れのみではなく東淸鐵道の本線乃はち哈爾賓より浦鹽に至る間の鐵道運賃は從前の半ばに値下げした▲是れはこれ一方南よりする貨物乃はち日本系の物輸入の途を塞いで浦鹽斯德に吸收せんとする策である▲此の策は見事に命中して上海を經由して北淸に向ふ貨物の大部分は浦鹽に向つて流れ甚しきに至りては芝罘天津邊の貨物も一部浦鹽に向ふと云ふことだ▲申すまでもなくこれは露人が日本人に對する平和的の挑戰だ▲けれども日本人は未だ何等の活動を始めて居ないから大打擊を蒙むるものも多くはないが困まるのは支那人だ▲そこで支那商人の有力なる團体は代表者を送つて哈爾賓の東淸鐵道會社に談判的懇願をなしつゝある事實が傳へられてる▲露人の動作が萬事萬端小氣味のよきまでに思ひ切つて亂暴であることは今に始まつた事ではないが事も此に至ると隨分無茶苦茶であると云はなければならぬ何の事はない駄々つ子がすねてあたり散らすと云ふ格だ元より大に男らしくはない▲併しながら或る政治通はこれもツアール陛下が掉尾の一劇に過ぎない今にヅーマの權利が伸びると共に此くの如き非道の施設は凡べての點に於いて消滅せざるを得ないナーニ大した事はないと高を括つてる▲ドーモ統一せざる仕事は混惑に陷いつて容易に進境に入らない之れに反して統一されたる仕事は直ちに其の反應を見ることが出來るから仕事をする以上は善惡に拘らず必ず一貫した大方針を以て之を率ゐることが肝要だ▲南滿洲鉄道株式會社が成立した今日滿州に關して最早兎角の批評を試みるは愚だ吾人は唯一日も早く其の統一ある大經綸を拜することを希望する

●銷夏錄 小櫻生

今の頃內地では『目に青葉山ほとゝぎす初鰹』の好時節であるか、何分日中九十何度の大陸的源熱に、つけて加へて窓の下に黃埃が一寸も溜るてふ土地柄と來ては、年頃日頃無頓着を標榜して居る新聞屋とて堪つたものでは非らす、去れはとて紳士とやらのそれの樣に花の樣なる佳人を携へて山紫水明の鄕に悠遊自適せん因緣もなく、詮方なく〳〵茲に銷夏欄を設けて一服の淸涼劑に資せんとす、世上若し同感の士あらば乞ふ日中黑甜鄕裡の人となるの閑を偸んで一片の投稿を惜む勿れ

雪の卷(一)

宛がら綿帽子を振つて飛はすかと疑ふ如月の大瓣雪マン字巴と降りしきる中をば、軍團旗を眞先に徐々と馬を打たせ給ふは、これなん第一軍司令官黑木大將其人である、續いて久邇宮殿下藤井參謀長以下幕僚宗徒のめん〳〵『今度こそは天下分け目の大會戰』天晴れ偉功を奏して凱歌を奉天城頭に擧けんもの』と、口にこそ出さぬ、孰れも多大の希望に輝やく馬上の風采、一望白皚々たる銀世界と對照して、勇ましなんど云ふ許りなしてあつた。

余は日露戰役中舌人仲間の末班を汚して始終黑木軍の帷幕に在つたものである、兼々此度の會戰てそ平和の成立を見る一大動機となるならんと、深く心に信してゐたものだから、只何となく心の勇まれて出陣の用意もイソ〳〵、友人佐々木照山か逃るゝ〳〵蒙古地より寄せ與れたる秘藏の栗毛、金覆輪の鞍こそなく、分捕品のロスケ鞍置か〳〵と打乘り、司令部の一行に跟つて、冬ながら仕慣いた半拉山子の宿營地を發たの〳〵か余の馬は張から張り切つて逸り、逸つて動ともすると引つ驅られんとする、己しことて得す行軍序列を脫して路傍の高粱畑へ乘り入れ 二三回輪乘を與れてやつとのことで勢を鎭め、小柳河子の村端れの小休場所で一同に追ひつき、傍の人に手綱を托してホツと一息ついて居た。

出發用意の小笛が鳴ると前列はヘヤ馬に跨つて行進を開始した、遙かに後方からこの景を眺めて居た吾愛馬カラチンは一聲高く嘶きつゝ、矢庭に傍の人から手綱を奪ふて一目散に驅け出した、ア、失敗たと思ふ間もなく馬は疾風の如く雪を蹴て軍團旗の横に現れ、そして黑木將軍の乘馬と後になり前になり、切りと一行の行進を妨げつゝあつた、しかも余か戰場の命と賴むアルミニユームの辨當を鞦にブラ下けた儘憂々と怪しけなる音をたてつゝ定めて幕僚の面々は手に冷汗を握つたてあらう。

將軍は馬上左右を顧みつゝ『これは誰の馬ぢや』皮肉屋の隊長を以て目せられて居る高級副官岩滿中佐は聲に應して『それは團匪の馬てあります日頃粗忽かしい男しあ〃ますのてどつかして取逃がしたのてありませう』(軍中余を目してダンビと云ふ何の故たるを知らす)

如何に無心の動物の所業とは云へ、苟も軍の行動を妨害しつゝあるを眼前遙かに之を見て居る余は氣が氣でない、否寧ろ恐懼措く處を知らなかつたのてあつた、然も宏量海の如き將軍は親から先驅の騎兵に命して刎ね廻れる余か馬を取押へて之を路傍の楡の枝に繋き留めしめられたのであつた。

程經て余は面目ないが手づから馬を曳きつゝ花勾嶺の陣地に辿りつくと其儘、將軍の前に叩頭謝罪すると、將軍は微笑を滿面に湛えつゝ『アノ儘打遣て置けば、大切な辨當を脊負て敵の前哨に飛ひ込むぞアハヽヽヽヽ』折しも雪は益々降りしきる敵の砲兵陣地から打出した十五サンチが吾か展望地の眼下に破裂してズドーン。

●編輯より 小櫻公か畢生の智囊を絞りて改善工事を施したる我宿舍は從來に比し進步的のものたると言ふ迄も之れ無く候所新來の岸峯は東京式の定規を用ゐ出歸のオ捻は二本町式の定規を用ゐて贅の有らん限りを並べ立て時折だゝをこね候爲め小櫻公梟の如ら眼玉をグルつかせて驚き入つたる風情寧ろ滑稽に御座候但た木葬陳人のみ相變らずの不得要領にて滿足もせされは苦痛とも思はず只歷二年など〻稱へ澄まし込み居る所可愛き男に候時日の經過は人體の組織を一變す約小一年の久し黃塵堆裏に出頭沒頭せる彼が全く日報社式と化せるもの異しむに足らす候瀨川領事酒井ドクトルも餘り笑はれましくかと存じ候

若竹 輕の少女

生そめて幾日もなつのみぢか夜に
よなかくのひし庭の若竹

(淡谷木材)
本號開設營口東靑堆子發賣栢木方料
栢木元料紅松料木油松料元木大小
標子廿四尺栢木大杆木板此木材出售
價廉採買客人不知請此廣告
東靑堆子橋南

西海洋服店
歐米各國最新流行形
電話百二十七號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
營口綏定門街
ブツシ商會東
川喜鐵工所

天氣豫報

營口地方天氣豫報
自十八日午後六時
至十九日午後六時

南又は西風晴れ

昨日の氣溫
昨年ヨリ

雜報

●姐さん方へ暑中御見舞　朴捻老

暑中の加減か又は愚老の周易が當らぬ爲めか爰二三ヶ月商は順と姐さん方のお顔を拜する事も出來ず此樣樣にて今二三週間も推し行くものなら可愛相に鼻の下が干上つて三途の川に宿替せねばならぬ仕宜となりそうなところ、そこは世の中は廣いもので捨てる神があれば助ける神もある喩姐さん方に見放されても若い時から別懇い小〓と云ふ山伏ドンや木葬と云ふ神主ドンが老爺も近頃は一向客がなさそうだがアノ樣子では好な酒も飲めまいから豆粕小屋に引取つてやらうと温かいお情を蒙つてヤツトの事二本町の判斷所を引拂ひツイ五六日跡から散髮屋の隣りの道場部屋のモ一ツ隣りの佛樣でも鎭座ましますような田舍の庵寺に似寄つて居る薄暗い部屋に押し込められたので先づ當分口の下も大丈夫らしいと思へば有難たいやら情けないやら、いづれ年が年中、姐さん方には余り宜くは言はれぬての愚老之れ位の報ひは有り勝ちの事併し猫には知らぬてど犬に喰はれて死ぬ氣遣もなくマア〳〵安々神々、ところで不相變最負を願ふように今迄姐さん方より頂戴仕つた判斷料の殘金を有るかなしかの財布の底叩ひて少々早過ぎるが暑中御見舞に姐さん方へ進上する品物ザツト左の如し

▲日本館喜代八さんへ　枕一本に白髮染、それから音樂二人り案内書一冊お二人り差向ひにて御熟讀被下度候

▲東京館次郎さんへ　スペルリング一冊と日本語獨案内一冊、英語の御勉强はお手のものならんも日本語の方は十二時後お二人り連れ散步を廢て精々御勉强あれかし

▲万直し愛子さんへ　牛家屯土木工事落札證一通と旅館宿泊券一枚

▲祇園閣繁子さんへ　西北街行、人力車券一ヶ月分と呉服券一枚(但十五圓)

▲菊水十郎さんへ　進水式御祝料三十圓と大學目藥一袋、トラホーム全治疑なく候

▲醉花園お福さんへ　毒滅三週間分、精々お服用被下度候不足の分は藥屋に有之候

▲滿月繁子さんへ　賣藥券十五枚、一枚宛隔日に御使用被下度候(但一枚七圓)

▲大吉樓さわさんへ　三船寫眞館美人投票落選請合券一〇と質屋通帳一札(まだ〳〵)

●西洋人の廻屋へ臨檢　無賴の西洋人等が組合ひ邦人住居の中央なる元神廟街に居を構へ文廻しなる遊戲をなして多くの邦人を集め金錢を賭し殆ど公然の賭博をなし居る事は豫て其筋にても大に注目する所ありたるが一昨夜十二時頃突然彼が居所に臨檢せしに今や邦人と西洋人間に於て金錢授受の最中なるを取押へ引致の上取調中なりと云ふ因に係官の語る所に依れば此種邦人にして斯る塲所に足を踏入る者あらば嚴重なる處分をなすと云ふ

●猪熊角三郎の不起訴　風俗懐亂てふ廉を以て當牛莊領事館より退淸處分を命せられたる大工猪熊角三郎は我北京公使館へ不服取消を申請したる所此程申分立たず不起訴の申渡を受けたりと何處迄も困つた野郎なり

投書かご

▲小學校の開設は滿足の至なり希くば之に附屬の圖書館を設け一般青年に讀書の習慣を養はしむる事を得ば一層の幸福なり(廣生)▲瀨川會長の辭任を機とし日本人會を解散して新たに青年によりて强固なる團体の設立せられん事を切望す(H生)▲提灯張替に困つて居りますが誰れか張り替する人があれば敎へて下さい(張替困却生)▲今年廿六才中等敎育あり帳簿整理其他事務に經驗あり輸送業者若くは有力なる商店に雇はれたし(一青年)▲三船館の美人投票には豫言の通り第三樓のお雪が一等賞を得た粕忠さんが每日〳〵三船に出張られて居つたが暑い時分は餘程お骨折りでしたネ(お情ない生)▲誤注進の御方へ申上ます萬梅のぽん子は決して一等を望む譯では有りません三等が四等でも百等が二百等でも人氣のある丈で澤山ですと某に話して居りました(又聞太)▲公園の十時過か非常に面白い僕は何も言はない物數寄の人は行つて見給へ奇々怪々迚ても言語筆紙に盡し難い珍事があるよ(實見小僧)▲辯月のたつ子が美人ならば營口にヘチヤと名の附く女は一人もないアノ顔に投票する人は餘程頓馬なアマタレだな(困つた者)▲醉月の老爺さんいノ一號妾を日本さんに還して愈々おつたを妾にする氣か臺灣の本妻はドゲエにして居る少しは可愛相と思ひませ(同郷生)▲滿月の小まんと辯舌家と聞いて居たが實に然りだ此妓已に三十八の山坂を上りかゝり居ながら年にも恥ぢず其の一度口を開きシヤベリ始めるや宛然小川の蟹の泡吹く夫れにソツクリだ(いきな男)

日報俳壇

啅萱のふた葉ふみ折る水鷄かな　天江
久松か野崎へ戻る袷かな　向陽
大矢數昔し與市の念者ぶり　牛骨
風鈴やさらりとしたる小酒盛　瓊香
里は今寐頃も過てほとゝぎす　柳泉
淺間山の煙の上を夏の月　千曲
若葉かけ雨ではるゝと覺えけり　野梅

▲左規によりて俳句を募る
夏季雜題　期日に關せす掲載得るに從ふ
課題　夏の月、單衣、蠅、六月末日まで
本本社編輯局俳壇宛に投寄を乞ふ
▲派の新舊問ふところにあらす淸新なるをよしとす
▲選句者は末足齋野梅氏なり

廣告

告示

拍賣於左開之日及在地處施行若有人買者知悉
左開條規爲此特示
一拍賣之日　定明治三十九年六月廿六日午前十點鐘　光緒三十二年五月初四日午前九點鐘
一拍賣之物件　掉鍾一個外雜物二百三十個
一拍賣之地　營口正平區下合豐店王鳳來住宅
一拍賣物件之賣價不能少與官定價値
一拍賣之物件非現銀到處不能交付物件
一者對王鳳來有該賑及欠欵者施行拍賣日以内告知衙門可也
右諭知
明治三十九年六月十九日
營口軍政署

本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及倣工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
營口青堆子綏定門外　志岐組

土木建築請負并ニ諸材料販賣板硝子便利瓦ウ井スキー麥酒類御賣
營口青堆子綏定門外　志岐組

硝子製造
營口青堆子街三百六十四號
菅野玻璃廠
THE OFFICE M. SUGANO'S GLASS MANUFACTORY. No. 364, St. Chingtaizu, YINGKOW.

●煉瓦販賣
上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町　高坂洋行煉瓦製造部　(電話九十番)

銘酒劍菱

遼陽停車場向ヒ　池上出張店

和洋御料理　高等
遼東館
遼陽城内東街一八九號　電話　號

●美人投票開函(第十五日)

票數	所屬	名
二千百七十	第三	ゆき
千八百七十一	萬梅	ぽん子
千三百六十一	菊水	太郎
千二百十四	金城館	金榮
千二百十	滿月	きく
八百五十三	東京館	次郎
六百十	日本館	手遊
五百五十二	万直し	年子
五百四十六	日出ホテル	きく
五百〇四	第一樓	よし子
四百八十三	日本館	たか
三百三十七	東京館	末
二百八十八	初音	雪
二百八十一	第三	花
百五十五	東京館	たね
百十五	滿月	歌子
百〇八	東邦亭	福八
八十九	金城館	きく
七十三	樂々亭	金八
七十	万直し	小萬
六十六	東京館	八千代
六十六	金城館	お里
六十	三洲樓	よし子
六十	金城館	金時
四十五	滿月支店	峯子
三十六	第一樓	春駒
三十三	万梅	若蝶
二十八	金城館	金之助
二十六	同	らく
二十五	同	染
二十三	第三	よね
二十二	初音	あい
二十	醉月	千代

●投票諸彥に告ぐ美人投票中廿点以下のものは省きて掲載せず

▲一等純金指環　元價三十圓
●附賞最新流行形蝙蝠傘　一本
▲二等　寫眞機械コタツク全　二十五圓
▲三等　全紙二枚掛引伸全　二十圓
▲四等　全紙引伸全　十圓
五等　半切引伸六圓　六等　四ツ切引伸四圓半
七等　八ツ切三圓半　八等　カビネ二圓半
九等　紀念帖一圓半　十等　繪はがき三打
營口元神廟街　三船寫眞館

副懸賞　某氏
月　日
一等　三味線　一竿
二等　目さまし時計　一個
三等　裕衣地　一反

雇入
熟練ノ技師及助手各一名入用希望者ハ至急來談アレ
營口元神廟街　三船寫眞館

移轉廣告
今般西北街代々木商會隣家屋に大修築を加へ移轉仕り候間舊倍之御愛顧之程伏して願上候也
牛莊亭白

軍隊用雜貨　日用品雜貨　呉服太物類　化粧品類　陶器類　食料品類
卸小賣
其外新荷着續々安賣販賣
永世街七十号(第二市塲東)
石原商店

醇良日本酒
サツポロビール
大販賣　和洋雜貨　洋酒化粧品　酒類　食料品
千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店　奉天小西關大什路北
孔雀印平野水

氷　田庄臺大盛貯氷公司　飲料好適
發賣元　營口元神廟街成功號三階　田庄臺大盛貯氷公司販賣部　(電話一三四)
特約店
大連信濃町市塲前　大原商店
營口二本町　丸山氷室
營口永世街　衛生軒
營口永世街平野町角　山田氷室
營口第二市塲前　松木氷室

滿洲第一　湯崗温泉
風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
營口○—大石橋—○—海城—○—湯崗温泉全停車塲—○—遼陽—○—奉天

御料理旅館　三河樓支店
弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にわりて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本風の二楷造家屋新築し樓上等も暑に應する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

松岡病院
内外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄　(電話一五一番)

料理
滿月
平野町(電一六二)
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

各位樣
和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町　日本館　(電話百三十)

廣告
一各國洋服地一切大勉强可仕候間何卒御來見の上御買求之程を願ふ
並に各國洋服仕立料も大安價に仕て差上可候間何卒御注文を願ふ
元神廟街日營貿易筋向ヒ
東營口元神廟街　寶泰祥　福興洋服所

靴製造并に修理

右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也

營口元神廟街郵便局官舍向ひ

桑田靴店

一 艀船貨物運搬業
一 浮船及瀨取請負業

右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候

營口南永世街第一市場ゟ西へ入る

遼河運輸 同濟公司

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書紙料蔴票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連票其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至汀西路五十一號門牌可也

中井洋行

營口西北街

裕和盛

電話八一番

東清鐵道 遼河 貨物運送業

雜貨商

新荷着

朝日ビール 日本酒澤の鶴 洋酒、食料品 和洋鑵詰、食器 內外煙草、葉卷 エジプト、文具 化粧品、金物類 肥前白米、醬油 酢、木炭、其外 色々

卸並に小賣

彩票

每月 大連 南洋 湖北 發賣

本店 長崎　支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

新荷着

▲板材木 ▲木炭
▲牛石灰 ▲竹、疊
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲石材

喜久洋行

營口永世街八十號 (電話百五十二番)

商號 キ キ キ キ キ

夏もの大賣出し

永世街第貳市場前

木村呉服店

(電話八八)

六月十五日より六月二十日まで

出張 鐵嶺 鐵嶺倶樂部內

日本及清國政府認可招牌爲記

胃症良藥

總售處 日本 東京 大阪 山田安民大藥房

啓者此藥爲日本海陸兩軍諸大名醫及藥劑官五名共同研究極力參考始得發明其劑其主効之顯著久已名馳內外誠蓋世無比之良藥也倘蒙 仕商惠顧請認明本舘招牌爲記庶不致誤

胃活專治効力 隔食。胃弱。多年胃弱。胃炎。胃痛 胃痙攣(即或時疼痛)食物不進。胸痞。(食物不消化故胸積弊)宿醉。(即昨日飲酒今日尚醉)惡心嘔吐。(見食吐)吐酸嘈雜。膨漲。或小兒吐乳等胃症若少服之則靈驗如神云

胃病形骸 胸張困苦○食物不進或食過多○胸漲痛 打臭噫○吐粘涎○吐酸水○血氣逆上則目昏花○腰腿發冷○或大便不下○或時下瀉○或腹內無力氣不時憂鬱○顏色青黃○身體困倦○或勞働而無力○且無記憶○若少出力則厭○不時好睡此等症皆胃病之形體也

價洋 三日所服藥料定價洋 一角○八日所服藥料定價洋 二角五分 十七日所服藥料定價洋 五角○三十七日所服藥料定價洋 壹元

寄售處 營口永世街 回天堂三木大葯房 電話百九十番

○板材木 ○金物類 ○疊建具 ○椅子テーブル ○洋燈類 ○鰹節雜魚 ○酢醬油 ○其他雜貨色々 新荷着大安賣

○蚊張 ○金庫 ○花莚 ○ペンキ ○文具 ○紙類 ○罐詰

(石) 營口西北街 石光洋行

遼陽西門外 石光洋行支店

資本金參拾萬圓 日清合股

(昌) 營口元神廟街第貳九八號

滿洲昌圖株式會社營口分局

總局 盛京省昌圖府東街

既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理

一 東淸鐵道轉運
二 昌圖以北馬車運送
三 轉運貨物保險
四 抵貨匯兌
五 各支店所在地棧房

敝關內外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙愛顧貨客寄託本分局房及各分局棧房面議爲荷特謹白倘途中水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按照地市價包補此

工

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

石材 石灰 大販賣

英治洋行

(營口西北街) (電話三二)

自造 煉瓦 瓦

並に各種石材販

營口埠子 加州組

電話

救治萬病 濟生八方 神効無比

謹告

弊店儀今度彌生跡を引受け新築一年若美形を揃へ料理は勿論御待遇萬事萬端一大刷新を加へ御一暇御清遊に適する樣店中車輪の大勉强仕候何卒倍舊御愛顧の程伏して奉願上候

店一同

御客樣

營口永世街 電話

醉月

宮門抄

二十四日

吏部 翰林院 正黃旗值日無引見 前出使大臣許珏到京請

安 伊犁領隊大臣峻昌謝 恩

召見軍機 許珏

石忠信遞封奏二件

奏議

內閣學士吳郁生奏滬甯鐵路用款過鉅請另籌接濟以免續借受虧摺

奏爲滬甯鐵路用款過鉅請 飭下部臣另籌接濟以免續借受虧恭摺仰祈 聖鑒事竊維滬甯鐵路由英國銀公司要求承造經前工部侍郎盛宣懷與之訂立合同以長不逾六百中里之路工而預備借款至三百五十萬磅之鉅估價過多必致浮濫自合同宣布後遠近駭然上年蘇省同鄉京官迭次陳奏以核減路本並責令盛宣懷截止一百二十五萬磅小票爲請欽奉 嚴旨改派唐紹儀妥籌辦理仰見 朝廷眷顧東南愼重路政之至意唐紹儀向稱廉幹宜如何督飭在工員司嚴杜虛糜以副 恩命近聞滬甯工程司來京又以工款不敷有商議續售小票七十萬磅之說此項路工即就已借之二百五十萬磅儘數開支每一中里約合銀三萬兩以上視他路成本浮逾兩倍公家受虧已多今若徇工程司之請再借鉅款是唐紹儀接辦以來於盛宣懷失算之處並無補救之方難逃 聖明洞鑒臣愚以爲借款造路既經訂有合同果能按照合同所載切實辦理亦尙可稽資鈐束查合同第四款內開在英國用出各賬以及匯交中國工程所用各賬均應按三個月爲一次呈繳總管理處覆核稟明督辦大臣覆准簽字方能作准並轉咨外務部戶部統轄鐵路礦務總局存案等語今滬甯路工尙未及半而二百五十萬磅之借款已將告罄究竟自興工以後曾否將一切用款按三個月開報一次核准有案局外毫無聞知而督辦大臣有稽核之權商部統轄路事亦有考査之責皆不應置諸不問此鉤勒已借支出之款可以按照合同辦理者一也又查合同第五款內開其第二次以及下餘各次小票於未發售之先銀公司須預先知照中國出使駐英大臣俾中國 國家遇有款項可以撥交總公司歸入鐵路賬內與售小票之借款一律支用如中國 國家果有撥款則三百二十五萬磅之數即照撥款若干扣減等語今滬甯路工如果鉤勒以後明知從前虛糜之款無可挽回而估計全路告成爲止實係不敷若干亟應自行籌撥萬不可再令銀公司出售小票致以九扣虛數受人盤剝此自籌待用不敷之款可以按照合同辦理者二也至款之從何籌撥臣尤有說從前蘆漢鐵路開辦之初由戶部撥借官款銀九百餘萬兩除淞滬萍醴兩路挪用外計蘆保一段工費五百六十餘萬兩全係動用官款現歸京漢路統轄應請 飭下商部戶部就京漢行車餘利項下指撥銀二百萬兩即於應交官款息銀內分年攤扯又萍醴鐵路盛宣懷爲萍鄉運煤之用私挪蘆漢官款修造上年滬甯動工時於銀公司借款內提撥一百萬兩作爲歸還淞滬造路之工價即以此款一併挪用於萍醴約計亦當在二百萬兩路內外夫萍鄉煤礦本係商辦近來煤價增昂以運費供養路之用必有盈餘若此路併歸商辦最爲名正言順應責成商部戶部於一年之內將萍醴招商接辦即以官欵撥歸滬甯不得遲延貽誤是滬甯既得四百萬兩公欵接濟一面仍由唐紹儀督飭總管理處撙節動支以昭核實藉酌盈劑虛之計爲補偏救弊之謀較之續借公司磅欵既有九折又有磅價上下匯兌往來種種虧耗利權外溢相去奚啻天壤微臣籍隸江蘇深維路事關係重大合無仰懇 天恩飭下部臣通盤籌畫奏明辦理所有滬甯用欵過鉅擬請另行籌撥以免續借受虧緣由是否有當伏乞

皇太后 皇上聖鑒訓示謹 奏奉 硃批商部戶部知道欽此

中外要聞

●電詢俄扣留機器　聞伊犁將軍長少白留守近有電到外部略云因伊犁邊陲風氣未開故擬辦官報以開通民志茲派委員購辦刷印機器運至七河省地方突被俄官扣留希照會該國駐京公使詰問緣由云云

●電飭嚴剿馬賊　聞政府電致熱河都統略謂近聞熱河所屬邊境馬賊出沒無常不時糾衆滋擾大爲地方之害務請飭屬嚴密剿辦總以刈除根株勿使蔓延成患

●代奏出洋大臣奏摺　外部二十日代奏考査政治大臣澤公封奏二件李盛鐸封奏一件聞李摺係單銜奏請赴比利時國欽差之任云

●常德關訂章開辦　湖南常德自闢通商場業由岳常澧道韓古農觀察勘定地址並訂章程大致俱仿長沙關辦理

●勿庸另派賽會監督　外務部各堂憲議商擬嗣後各國如有賽會之盛舉即派委駐紮該國欽差兼充監督毋庸另派監督以節縻費

●外部電咨蘇撫接待俄員　外部致蘇撫陳筱帥電云頃准俄璞使面稱俄武職隨員額國羅本月初九日往青島暨山東兩江兩湖等省游歷並看中國各軍隊事並語希於該武員到時妥爲接待照料至看各軍隊事並酌核辦理云云聞中丞接電後隨即札行督練公所遵照並通飭各地方官俟該武員到境照章妥爲接待沿途隨時照料毋許地方居民稍滋事端

●日本林使定期來華　日本駐華公使林權助君擬定於月之二十日(東曆)由東啓程赴任

●俄國移民墾田　俄政府慮農民窮乏致滋擾亂此次預備田畝五千四百萬頃以爲民田令無田之農民一律移住以便開墾

●申明三國同盟　奧國格爾阿斯基伯爵於維也納接見奧國議員關於三國同盟攻守事宜申明凡同盟一事一國有事兩國起兵以助緩急但推擴同盟是否推及巴爾干半島奧國尙未定奪云

●英擬開會日期　英國議院擬俟七月二日議定教育法案定於八月三日閉會又於十月抄秋期議院開會

●徽屬匪亂詳誌　此次亂事實起自饒州鄱陽等處該地因係皖贛交通匪黨最易溷集始在建德散布謠言繼而婺源忽傳警耗此即匪人引用聲東擊西之計始終調兵兜捕終則竄擾祁門先是建德李令紳禀撫轅當即派兵下鄉匪衆膽敢拒捕官兵徵受痍傷再經往追該匪遂竄往桃墅店木塔口等處查木塔口等教堂確已焚折二處均係大主分堂餘幸安堵如恒此際贛撫即有電至皖稱已緝獲匪首蕭京春餘匪漏網請一體會拿於是江督電又至皖飭即會同贛撫嚴密防範外部電亦至皖稱木塔口教堂被毀等事恩中丞一一電答一面札飭巡防軍營務處張守樹建修復焚毀之教堂並飭該縣令與教士婉商速爲和平了結部署甫經就緒忽接祁門縣飛禀告警匪勢蔓延縣境請兵駐防此即建德匪黨之餘波也查祁門地接三省況現值茶市商賈雲集厚擁貲財一聞警耗其惶恐之狀較他邑尤甚不免愈增匪勢又經恩撫即飛札前派往之巡防軍統帶撥帶一旗迅赴祁門鎮守旋又札飭皖南鎭飭徽州府屬各營汛就近防堵密拿去後現據該縣禀復漏網匪首黃淑性已爲浮梁縣捕獲目今祁門縣境安謐如常請無庸添兵下縣以靜人心復又續據建祁婺三縣等禀稱亂事將次平靖情形可保無虞恩中丞除已調出之兵隊未便撤防外仍飭各屬須實力搜捕以遏亂萌想既經合力防範諒不致再釀端矣

●紹興府屬水患　浙函云浙江紹興府屬各境地勢卑窪每多水患近因本月初旬連日大雨上江金衢嚴一帶山水奔騰直注不及疏洩以致漫溢成災現曹娥江一帶平地已積水數尺諸暨縣城內竟至積水七八尺初六日後雖幸漸退惟田廬房舍受患已深居民皆避入山中死亡接踵官私各學堂亦皆因此停課現該郡官紳止在籌欵辦賑並據情禀請浙省大吏設法

●那達爾土匪被誅　南菲那達爾土匪現被誅戮者約有二百七十五名之多馬根西大佐云此一役土匪滋生擾亂之勢必渙散矣

●英議教育法案　英國教育法案委員等關於教育時宜尙未具案故緩期一禮拜俟政府妥議辦法再行定奪

●擬拆擱淺戰艦　英國海軍大臣羅巴杜遜君於議院申明現海擬將在普理斯杜爾海峽擱淺之戰鬪艦滿達克號俟天氣和霽一律剖拆

●英滿意中國對稅關之覆答　英國外務大臣克列君申明查清國外部覆答派稅務大臣節制稅關洵無他意英國亦足滿意也

雜報

●隱魂翳目　關帝廟後有居民周振者其子年十四齡從師讀書前數日由塾旋歸入門双目輒盲瞑不見物急呼其母以告舉家進前審視其目盼然分明奈無眸子直若兩算珠然卽時延眼醫施治據某醫曰瞳仁反背是謂怪症極形棘手勢難調治云云於是舉家失措連越數日依然如瞽詎周於前日延一燒香巫師來視謂非瞳仁反背此乃一溺死幼童陰魂生前與此子情好因溺死後數年未見前曾遇諸途猶向親熱即坐翳於眸上故蔽障乃爾焚香禱之可去也當爲厭禳立刻閃明眸子神見次日仝行退出瞳人如故其家人轉思溺死之童猛然省悟乃居他處院鄰李姓之子乳名九群曾與周子最好是年十歲溺斃於東埠小塘斯亦奇異焉

●會水跌落　本埠南方諸客近急需銀貿遷因而滬上會水大跌昨出市行向南會壹千兩反給出主加色十五兩向天津會千兩仍與收主加三十兩向瀋陽給收主加四兩向寬城子給收主加十兩向吉林亦給收主加十兩云

●一蹶不振　昨聞本埠東營有福亨成雜貨舖二等執事人王連敬者時年五十七歲體胖大意欲登厠將至便所之突然跌倒當有櫃夥多人齊往扶掖已屬不省人事叫喚多時毫無氣息業經身死聞其人乃係黃縣狗皮集人在本埠貿易多年云

●海氛不靖　昨聞船戶人云現於昨日午後有打魚網船數十隻因被口外賊船來往攪擾不能操業特來口內以避搶掠之難云云

●河伯復仇　昨有河北友人云田莊台河南岸有立科村時值鋤田之際有田夫五六人正在鋤田忽見河邊有二黿曬日游戲淺灘田夫即將二黿獲住用鋤力起去其甲復又去其四肢其一已經斃命田夫又將如法處置彼黿正欲動手忽來一里中老者當時阻其不可且爲訴其利害田夫驚駭速爲竄去老者將黿用香帋等物送入河內祝其無事至本月廿三日忽然河水大發直奔立科村而去平地水深約有丈餘多年不壞之土壩均被水勢冲塌白浪滔天杳然無際湮沒田地約有萬畝之多當有隣村衆人環禱其水始退又聞此次所漲全係鹹水三五年間此田亦决不能生苗云

來函照錄

恩桐於月之前偶罹傷寒之症經如許名醫均未治愈始入日本避病院深荷院長加意診療優厚待人起居飲食無一不周現已痊可即日可以出院回想前此俄國設立病院往往待人慘虐者不實徒有其名所以凡入俄國病院因而致死頗不乏人故我同胞之人聞入病院未免心中恐懼慮俄之不仁今恩桐深感日本避病院院長妙手回春之德敬謹登報陳謝普勸我同胞之人嗣後如有疾病者儘可往避病院治療養病一切均爲妥善非同昔時俄國所設病院之誤人生命也

西營口水路巡捕于恩桐具

營口捐助舊金山華僑震災銀洋字號姓名列左

玉發魁 仝 五圓　宏增世 仝 五圓
孫聚銀 仝 五圓　大有玉 仝 五圓
大德蔚 仝 五圓　富泉湧 仝 五圓
游子橋 仝 五圓　復慶公 仝 五圓
廣泰公 仝 五圓　咸元會 仝 五圓
義泰長 仝 五圓

粵東捐助列左

葉侶琴 仝 五圓　楊鳳橋 仝 五圓
陳玉書 仝 五圓　陳鴻恩 仝 五圓
高鶴友 仝 十圓　楊蔚亭 仝 十圓
蔡敬記 仝 五圓　姚宅南 仝 二圓
陳永記 仝 二圓　陳鏡湖 仝 二圓
謝馥生 仝 二圓　周鶴雲 仝 十圓
林耀亭 仝 十圓　容文翰 仝 五圓
區松山 仝 五圓　羅雲孫 仝 五圓
梁叔和 仝 二圓　鄭進之 仝 十圓

(未完)

者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種冊籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之購本處者其價目格外公道 貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口料理店案内（いろは順）

旅館 料理 第一樓 元神廟街九十六號(電話八四番) 營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

御料理並ニ温泉 一力 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前(電話一八七番、四番) 店主 熊田粂次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街(電話一四五番) 店主 片山小みつ

旅館 大和館 永世街三十四號(電話十一號) 店主 前田九一郎

御料理 梅廼家 營口二本町 田村瀧太郎

料理 鶯梅 豐濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理 旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

さるそば 第一更科 營口元神廟街 さるそば 第二更科 永世街鶴の橋角

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

御旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉(電話 號)

會席御料理 高等御旅館 天神樓 温泉付大勉強キレーデライシヒ 奉天小西關大街北側(電話 號)

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男(電話 號)

旅館 料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎(電話 號)

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北(電話二十五號)

旅館料理店 日章館 牛肉すき燒 雞肉 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入(電話 號)

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎
今回大改良を加へ旅館専業にし御客樣の便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 料理店 新日奉館 奉天大西門際 館主 濱田アヤノ

遼陽旅館料理屋案内

旅館 料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園捷

旅館 西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽倶樂部 遼陽兵站司令部指定ホテル 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門二七号 上松榮治郎

旅館 御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

日本石炭新荷着 多少に係らず御用仰付られ度候 紋定門街 電話百五七 新玉倉庫

元祖 アイスクリム 山金
●斯道の元祖老夫婦が多年の經驗を積みし
●味を試み(アイスクリム)の由來如何を知れ
(清國營口平野町)

御料理 本店 金城館 奉天小西關新來當街々(電話十九)

御旅館 金城ホテル 奉天小西門街大什字街(電話二〇)

御披露
追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御淸榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ新に江戸ッ子粹の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方樣には一入の興味を感せらるゝと奉存候尙樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納涼旁あつさりせ晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

御料理 支店 金城館 營口永世街(電話八三)

御旅館 支店 金城ホテル 營口永世街

御料理 支店 金城館 大連市吉野町

御旅館 支店 金城館 大連市吉野町

會席料理 三日月 營口警務課前南に入る

和洋 御旅館 御料理 奉天館 奉天軍政署指定旅館 奉天城內鐘樓南大街(電話十四番)

日淸倶樂部 奉天城內大南門裡大街(電話十五番) 麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫

氷卸小賣所

大日本政府特定 營口製紙捲煙草 滿洲一手輸入發賣
江副洋行 營口永世街

各種雜貨一概俱全
加藤洋行
東營口東海關後街

廣告
スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等麥酒スペシャルライト

六月 釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部(電話五番)
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新綠滴タルソ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當溫泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

爲替相場(六月十九日)
日本向 百〇一圓五十錢(票百圓に付)
上海向 七十一兩(同)
天津向 一百三圓六十二錢五厘(百弗に付)
芝罘向 一百〇三圓六十二錢五厘

日本品最近物價表
紙類 加藤洋行
半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
美濃紙 仝 七圓五十錢
仙花紙 一帖(六十枚) 六十錢
塵紙 一圓七十錢
狀袋 仝 二十枚綴 三錢二厘以上四錢
百枚 十三錢以上十八錢
室內裝飾品及寢具 矢野洋行
蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
座ブトン 十帖 七圓五十錢以上三十五圓
毛布 五圓五十錢以上十四圓
疊 二圓六十錢以上三圓
薄緣 十枚 八圓
麻緣 一疊敷 三圓
綿緣通 仝 三圓五十錢
由加多織 仝 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙